

## シーズ紹介 | 今年度、富山県立大学に着任された先生方をご紹介します。ご相談などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

### 環境工学科



講師 立花 潤三

#### 経 歴

平成16年10月～平成19年3月  
豊橋技術科学大学エコロジー工学科COE研究員  
平成19年4月～平成20年3月  
大阪府立工業高等専門学校物質化学コース 講師  
平成20年～平成24年3月  
鳥取県産業技術センター及び東京大学生産技術研究所 研究員

#### 研究分野

私の研究テーマは、地方都市における低炭素社会の在り方と、その将来社会に向けた具体的方策に関する研究です。具体的には太陽光、風力、小水力、バイオマス、地熱などの再生可能エネルギーの利活用に関する研究、低炭素社会構築に向けたロードマップの構築に関する研究を行っています。

#### メッセージ

先日開かれた地球サミット(リオ+20)では、グリーン経済が大きなテーマとなりました。我が国では、地球温暖化や原子力リスクの問題から再生可能エネルギー利用への取り組みが強化されつつあり、それに伴ったグリーン経済の活性化も期待されています。このエネルギー変革期はビジネスチャンスであり、そのシーズとなるような研究成果が出せるよう取り組んでいきたいと考えています。

### 環境工学科



講師 古谷 元

#### 経 歴

平成16年4月～平成18年6月  
特定非営利活動法人国際斜面災害研究機構 研究員  
平成18年7月～平成21年8月  
日本工営株式会社新潟支店 課長補佐  
平成21年9月～平成24年3月  
新潟大学災害・復興科学研究所 特任准教授

#### 研究分野

研究分野は自然災害科学、特に斜面災害が専門分野になります。現在は、地すべり・斜面崩壊が発生する原因、予測、そして崩れた土砂の影響範囲に関する内容について、地下水挙動や斜面強度の現地計測を主体として研究を進めています。

#### メッセージ

近年、気象変動と思われる豪雨や大地震が誘因になった斜面崩壊・地すべりが発生して国内外で甚大な災害が生じています。このような災害に対する減災手法を検討する上で、地下水と斜面強度に関する現象の解明と、これと平行してより簡便かつ数値的裏付けのある危険度評価法を検討したいと考えています。また地震時の斜面崩壊・地すべりについても検討を進めていき、安全・安心な県土・国土形成に資する研究に繋がってほしいと考えています。

### 教養教育



准教授 川上 陽介

#### 経 歴

平成6年4月～平成15年3月  
京都大学大学院文学研究科文献文化学専攻国語学国文学専修博士前期課程・後期課程 修了  
平成15年4月～平成18年3月  
日本学術振興会 特別研究員  
平成18年4月～平成23年3月  
京都大学国際交流センター 非常勤講師

#### 研究分野

江戸時代の文学を研究しています。十八世紀の日本人は、人間として大切にすべきものは何かという根源的な思想を、実にさまざまな形で表現しています。私の研究目的は、このような江戸時代の精神基盤にもとづいて、文学テキストを正確に読み解くことにあります。

#### メッセージ

文学作品の「ことば」を正しく理解するためには、「ことば」が担っている重層的な文化的背景を知らなければなりません。十八世紀の日本人にとって最新のポップカルチャーであった中国白話文学の役割にも留意しつつ、談義本、読本、洒落本、笑話集、漢詩、漢文戯作などの作品を読み、江戸時代の「ことば」を正確に理解し味わうことを目指しています。また、当時の科学者たちが著した「文学」作品の魅力にも迫りたいと思っています。